

ロシアのウクライナに対する戦争と国際スポーツに関する声明（第2回）

ロシアの選択により始められ、ベラルーシ政府により支援された、ウクライナに対するいわれなき不当な戦争は忌まわしく、国際的な義務に対する甚だしい違反である。人権の尊重及び国家間の平和的な関係は、国際スポーツの基礎を形成するものである。

我々は、同志国として、我々が3月8日に発出した（国際スポーツ団体の立場への支持を示した）声明を再確認し、スポーツ団体の独立性を認識しつつ、政府としての立場をさらに述べる：

- ロシア及びベラルーシの国内スポーツ団体は国際競技連盟から資格停止されるべきである。
- 政府関係者を含むがこれに限定されない、ロシア及びベラルーシ両国と密接なつながりのある個人については、理事会や組織委員会など国際競技連盟に影響力を与えるような役職から除外されるべきである。
- 国内・国際スポーツ団体は、ロシア及びベラルーシ国内におけるスポーツ競技の放映を中止することを検討するべきである。

国内・国際スポーツ団体及びその他の大会主催者が、スポーツ大会においてロシア及びベラルーシのスポーツ関係者（選手、スタッフ及び運営者を含む）の参加を認める選択をした場合は：

- 彼らがロシア又はベラルーシ両国を代表していないことを明確にすべきである。
- ロシア及びベラルーシの公式な国旗、国章及び、国歌の使用は禁止されるべきである。
- スポーツ大会において、関係するすべての選手、スタッフ、運営者が行う公的な発言や表示するシンボルがこのアプローチと一致していることを確保するために、適切な措置が講じられるべきである。

我々は全ての国際競技連盟に対してこれらの原則を考慮することを呼び掛け、既に行動を取った全ての団体を称賛すると共に、自国の国内スポーツ団体がそのように行動するよう国際競技連盟と連携することを奨励する。これらの制限は、ルールに基づく国際秩序の下における協力が再び可能になるまで継続されるべきである。

さらに、我々は、国際スポーツ社会が、可能な限りウクライナのスポーツの継続と再建を支援することを含め、ウクライナの人々との連帯を示し続けることを改めて奨励する。

署名国：

オーストラリア連邦・オーストリア共和国・ベルギー王国・カナダ・クロアチア共和国・キプロス共和国・チェコ共和国・デンマーク王国・エストニア共和国・フィンランド共和国・フランス共和国・ドイツ連邦共和国・ギリシャ共和国・アイスランド共和国・アイルランド・イタリア共和国・日本・大韓民国・ラトビア共和国・リヒテンシュタイン公国・リトアニア共和国・ルクセンブルク大公国・マルタ共和国・オランダ王国・ニュージーランド・ノルウェー王国・ポーランド共和国・ポルトガル共和国・ルーマニア・スロバキア共和国・スロベニア共和国・スペイン王国・スウェーデン王国・英国・アメリカ合衆国